

セルフケアのための主な小児ぜん息治療薬

この表は「小児気管支喘息 治療・管理ガイドライン2012」をもとに作成しました。あくまでも目安のひとつとしてご利用ください。実際の治療では年齢や症状によって使用されない薬があるなど、必ずしも表と当てはまらない場合がありますので、薬の使用に関しては必ず医師に相談してください。

主な長期管理薬（コントローラー）……気管支の状態を良くし、発作がおこらないように長期間予防的に使う薬

薬の役割		気管支の炎症をおさえる薬		気管支の炎症をおさえるとともに気管支を広げる薬		気管支を広げる薬		新たなぜん息発作がおきるのをおさえる薬				
薬の種類	吸入ステロイド薬	吸入ステロイド薬 /長時間作用性 β_2 刺激薬配合剤	吸入ステロイド薬 /長時間作用性 β_2 刺激薬配合剤	気管支拡張薬	キサンチン系薬	ロイコトリエン 受容体拮抗薬	抗アレルギー薬			Th2サイトカイン 阻害薬	ヒスタミンH ₁ 拮抗薬	
効 能	気管支に直接到達して、炎症をおさえる。	1剤で、気管支の炎症をおさえる効果と気管支を広げる効果がある。	1剤で、気管支の炎症をおさえる効果と気管支を広げる効果がある。	交感神経を刺激して、気管支を広げる。12時間以上効果が持続する。(吸入ステロイド薬と併用することが基本)	ゆっくり溶ける作用時間の長い薬で、気管支を広げる。	気管支を収縮させる作用に深く関係しているロイコトリエンという化学伝達物質の働きをブロックする。	気管支の収縮を引き起こす化学伝達物質が肥満細胞から放出されるのをおさえる。	アレルギー炎症をおこす物質(サイトカイン)の産生をおさえる。	アレルギー炎症をおこす物質(サイトカイン)の産生をおさえる。	肥満細胞からの化学伝達物質の放出をおさえる作用にあわせて、ヒスタミンの働きをおさえる効果がある。		
用 法	吸 入	吸 入	吸 入	吸 入・貼 付	経 口	経 口	吸 入	経 口	経 口	経 口		
主な副作用	のどの刺激による咳、声がれ、口唇カンジタ症など(一般的な使用量では全身性の副作用はほとんどなく、吸入後のうがいや水分摂取で多くは予防可能である。)	声がれ、口唇カンジタ症、咽喉頭部への刺激感、心悸亢進(ドキドキする)など。	声がれ、口唇カンジタ症、咽喉頭部への刺激感、心悸亢進(ドキドキする)など。	心悸亢進(ドキドキする)、頭痛、はきけなど。	はきけ、嘔吐などの胃腸症状、興奮、食欲不振、下痢、不眠、けいれんなど。	発疹、下痢・腹痛、肝機能障害など。	咽喉頭部への刺激感、嘔吐、咳など。	胃の不快感、はきけ、下痢などの消化器症状、眠気、頭痛、発疹、肝機能障害など。	胃の不快感、はきけ、下痢などの消化器症状、眠気、頭痛、発疹、肝機能障害など。	眠気やけいれん、興奮など。		
商品名	■オルベスコ オルベスコ50 μ gインヘーラー112吸入 オルベスコ100 μ gインヘーラー56吸入(112吸入) オルベスコ200 μ gインヘーラー56吸入 ■フルタイド フルタイド50 μ gディスクフルタイド100 μ gディスク ■キュパール キュパール50 μ gエアゾール キュパール100 μ gエアゾール ■バネミコート バネミコート吸入器25 μ g吸入器100吸入 バネミコート吸入器50 μ g吸入器50吸入 バネミコート吸入器100 μ g吸入器25吸入 バネミコート吸入器200 μ g吸入器12.5吸入 バネミコート吸入器400 μ g吸入器6.25吸入	■アドエア アドエア100 μ gディスク60吸入 アドエア50 μ gエアゾール120吸入 ■セレベント セレベント50 μ gディスク セレベント250 μ gディスク セレベント500 μ gディスク ■セリン セリン吸入器100吸入 セリン吸入器200吸入 セリン吸入器400吸入 ■セリン セリン吸入器100吸入 セリン吸入器200吸入 セリン吸入器400吸入	■アドエア アドエア100 μ gディスク60吸入 アドエア50 μ gエアゾール120吸入 ■セレベント セレベント50 μ gディスク セレベント250 μ gディスク セレベント500 μ gディスク ■セリン セリン吸入器100吸入 セリン吸入器200吸入 セリン吸入器400吸入 ■セリン セリン吸入器100吸入 セリン吸入器200吸入 セリン吸入器400吸入	■オノン オノン吸入器100吸入 オノン吸入器200吸入 オノン吸入器400吸入 ■キプレス キプレス吸入器100吸入 キプレス吸入器200吸入 キプレス吸入器400吸入 ■インテール インテール吸入器100吸入 インテール吸入器200吸入 インテール吸入器400吸入	■リザベン リザベン吸入器100吸入 リザベン吸入器200吸入 リザベン吸入器400吸入 ■アレギサル アレギサル吸入器100吸入 アレギサル吸入器200吸入 アレギサル吸入器400吸入 ■アイビーティ アイビーティ吸入器100吸入 アイビーティ吸入器200吸入 アイビーティ吸入器400吸入	■セルテクト セルテクト吸入器100吸入 セルテクト吸入器200吸入 セルテクト吸入器400吸入 ■ザジテン ザジテン吸入器100吸入 ザジテン吸入器200吸入 ザジテン吸入器400吸入						

主な発作治療薬（リリーバー）…発作がおきたときに使う薬

薬の役割	気管支を広げる薬
薬の種類	短時間作用性 β_2 刺激薬
効 能	交感神経を刺激して、気管支を広げる。
用 法	吸 入
主な副作用	心悸亢進(ドキドキする)、倦怠感、頭痛、はきけ、発疹など。
商品名	■メブテン メブテン吸入器0.3mL メブテン吸入器100吸入 メブテン吸入器200吸入 メブテン吸入器400吸入 ■ベネトリン ベネトリン吸入器2mg ベネトリン吸入器4mg ベネトリン吸入器8mg ベネトリン吸入器16mg ■ペラテン ペラテン吸入器0.1% ペラテン吸入器0.2% ペラテン吸入器0.4% ペラテン吸入器0.8% ■ペロテック ペロテック吸入器0.05% ペロテック吸入器0.1% ペロテック吸入器0.2% ペロテック吸入器0.4% ■ネオフィリン ネオフィリン吸入器100吸入 ネオフィリン吸入器200吸入 ネオフィリン吸入器400吸入 ネオフィリン吸入器800吸入

小児ぜん息の長期管理における薬物療養プラン

	ステップ1 間欠型治療	ステップ2 軽症持続型治療	ステップ3 中等症持続型治療	ステップ4 重症持続型治療
乳児(2歳未満)	基本治療 発作の強度に応じた薬物療法 追加治療 ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1 and/or ●DSCG 吸入	●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1 and/or ●DSCG	●吸入ステロイド薬(中用量) ※2	●吸入ステロイド薬(高用量) ※2 ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1
幼児(2歳以上5歳未満)	基本治療 発作の強度に応じた薬物療法 追加治療 ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1 and/or ●DSCG	●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1 and/or ●DSCG ●吸入ステロイド薬(低用量) ※2	●吸入ステロイド薬(中用量) ※2	●吸入ステロイド薬(高用量) ※2 ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1 ●テオフィリン徐放剤(考慮) ●吸入ステロイド薬(SFC)への変更
小児(5歳以上15歳未満)	基本治療 発作の強度に応じた薬物療法 追加治療 ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1 and/or ●DSCG	●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1 and/or ●DSCG ●吸入ステロイド薬(低用量) ※2	●吸入ステロイド薬(中用量) ※2	●吸入ステロイド薬(高用量) ※2 ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1 ●テオフィリン徐放剤(考慮) ●吸入ステロイド薬(SFC)への変更
小児(15歳以上)	基本治療 発作の強度に応じた薬物療法 追加治療 ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1 and/or ●DSCG	●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1 and/or ●DSCG ●吸入ステロイド薬(低用量) ※2	●吸入ステロイド薬(中用量) ※2	●吸入ステロイド薬(高用量) ※2 ●ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※1 ●テオフィリン徐放剤(考慮) ●吸入ステロイド薬(SFC)への変更